

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回宍粟市地域包括支援センター運営協議会及び 令和5年度第2回宍粟市地域ケア推進会議	
開催日時	令和6年3月7日（木） 13:30～15:00	
開催場所	宍粟市役所北庁舎4階 401会議室	
議長（委員長・会長） 氏名	垣尾会長	
委員氏名	（出席者） 船曳委員、井原委員、山田委員、橋本委員、 志水幸子委員、中尾委員、志水照美委員、溝 端委員、堀田委員、岸本委員、縣委員、西川 委員、平山委員、前野委員、水谷委員、竹井 委員	（欠席者） 米田委員
事務局氏名	（健康福祉部） 有元次長 （一宮保健福祉課） 菅谷係長 （波賀保健福祉課） 高田主任保健師 （千種保健福祉課） 坂口主任保健師 （福祉相談課） 栗山課長、吉田係長、中川主査 （宍粟市社会福祉協議会） 猪尾生活支援コーディネーター 西村生活支援コーディネーター	
傍聴人数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） 3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 （1）令和5年度地域包括支援センター事業報告について （2）令和6年度地域包括支援センター運営方針、予算について 令和6年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業委 託契約事業所一覧 人口・高齢化率、世帯の状況、介護認定の状況 4. 宍粟市地域ケア推進会議 （1）テーマ「人づくり」 認知症地域支援推進員 （2）テーマ「地縁づくり」 生活支援コーディネーター	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	課題・発言内容
事務局	1. 開会
会長	2. あいさつ 会長より 健康福祉部次長より
事務局	3. 宍粟市地域包括支援センター運営協議会 (1) 令和5年度地域包括支援センター事業報告について 資料1を用いて事務局より説明する。
A委員	後見人とは、法律家等の専門家が担うと思っていたが、市民が担うことはできるのか。
B委員	財産管理のうち、高額の場合は、司法書士等の専門家が行うが、生活に必要な金銭管理は、人生経験のある一定の研修を受けた市民後見人の方が地域の助け合いの観点から良い場合もあり、市としても市民後見人の育成をすすめていただく方がよいと思う。
事務局	(2) 令和6年度地域包括支援センター運営方針、予算について 令和6年度介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業委託契約事業所一覧 人口・高齢化率、世帯の状況、介護認定の状況 資料2・3・4を用いて事務局より説明する。
C委員	お薬手帳について、第9期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査において、84.1%がお薬手帳活用をしていると報告があったが、毎日お薬手帳の活用について換算しているが、70%程度である。 また、お薬手帳の持参で、医療費自己負担が少なくなるというメリットもある。
D委員	医院でお薬手帳を持参される方は少ない。マイナンバーカードを活用すれば、数か月後であっても、内服状況を確認できるが、マイナンバーカードの普及も低い。
事務局	あくまでアンケート調査の結果であるため、自己申告のためお薬手帳を治療の際に、持参することで自身のことを知ってもらえ、治療の参考になるので、活用することが大切である。
A委員	地域に、認知症の方の介護をしている方が増えているように思うが、現状はどうか。
事務局	認知症の方も増えており、相談件数も増えているのが現状である。認知症の受診については、認知症初期集中チーム員会議やSOSネットワークの紹介をすることもできるため、相談があれば窓口が地域包括支援センターであると伝えていただきたい。
会長	高齢化に伴い、認知症罹患率も上昇する。気になる症状があれば、介護支援

	<p>専門員、市役所等に相談すればサポートできるが、相談につながらないことが課題である。</p>
	<p>4. 宍粟地域ケア推進会議</p>
	<p>(1) テーマ「人づくり」認知症地域支援推進員 資料5を用いて説明する。</p>
	<p>(2) テーマ「地縁づくり」生活支援コーディネーター 当日配布資料を用いて説明する。</p>
	<p>(3) 意見交換</p>
E 委員 事務局	<p>認知症サポーター養成講座の中で市民後見人の啓発はしているのか。 一部、パンフレットを用いて簡単に説明をしている。今後、普及に向けて講座の中でも取り入れたい。</p>
F 委員	<p>地域の集まりに参加できる方は、見守りをするができるが、地域の集まりに参加できない方、しない方は、見守りをするができない。孤立してしまうこともあり、この点が地域の課題であると感じている。</p>
会長	<p>民生委員・児童委員の活動の中で、感じられていることはあるか。</p>
G 委員	<p>介護保険サービス等の支援を受けている方は、相談先があるが、元気な一人暮らしの方は、夜間一人で過ごすことなど不安を抱えながら生活されている。自宅以外の生活の場所は経済的理由で利用できないこともあり、安心して暮らせるまちづくりが大切だと思う。</p>
事務局	<p>自立支援サポート会議においても、男性の居場所づくりが課題としてあがっている。その点について、ご意見があればお聞きしたい。</p>
A 委員	<p>老人クラブにおいても、加入したくない方もあり、冬場は特に訪問して見守り活動をしている。元気であれば、一人で好きなことをして過ごすことを楽しみにしており、孤独を感じていない方もある。一概に集まる事がよいとも限らない。</p>
事務局	<p>集まりに参加しない方も含め、見守りが大切である。</p>
	<p>5. その他</p>
	<p>6. 閉会 副会長より</p>